

事項	サイレージ用トウモロコシの奨励品種「スノーデント108（系統名LG3490）」の特性		
ねらい	本県に適するサイレージ用トウモロコシの品種を選定するため、流通品種の生育特性及び収量性を検討した結果、「スノーデント108（系統名LG3490）」が既存の奨励品種に比較して収量性及び耐病性に優れることが明らかとなったので奨励品種として普及に移す。		
普及する内容	<p>1 来歴 フランスで育成されたデント種×デント種の単交配品種であり、平成23年から雪印種苗株式会社が販売している。</p> <p>2 主な特性（標準品種「パイオニア106日（系統名36B08）」対比）</p> <p>(1) 発芽の良否及び初期生育は同程度で良好である。</p> <p>(2) 絹糸抽出期及び刈取期は3日程度遅い早生品種である。</p> <p>(3) 長稈で着雌穂高も高いが、倒伏は軽微である。</p> <p>(4) すず紋病の発生は同程度であるが、紋枯病の発生は少なく、耐病性に優れる。</p> <p>(5) 乾物収量は3か年平均で110%の多収を示す。</p>		
期待される効果	サイレージ用トウモロコシの安定生産に資する。		
普及上の注意事項			
問い合わせ先 (電話番号)	畜産研究所酪農飼料環境部 (0175-64-2791)	対象地域	県下全域
発表文献等	平成22年度東北農業試験成績・計画概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 「スノーデント108（系統名LG3490）」の生育特性及び収量

(平成20～22年 青森畜産研)

品種名 (系統名)	年次	発芽の 良否	初期生育	絹糸抽出期 (月/日)	刈取期 (月/日)	生育日数 (日)	刈取時の形質			倒伏 (%)	折損 (%)	病害		乾物収量		雌穂割合 (%)
							稈長 (cm)	着雌穂高 (cm)	稈径 (cm)			すす紋病 (1-9)	紋枯病 (%)	(kg/10a)	標準比	
スノーデント108 (LG3490)	20	9.0	5.0	8/10	10/3	147	287	111	1.5	6.7	0.0	1.0	0.0	1,715	115	57
	21	9.0	5.7	8/11	10/1	143	267	91	1.4	0.0	0.0	1.3	4.6	1,690	108	58
	22	9.0	6.3	7/30	9/16	129	247	88	1.5	0.0	0.0	1.7	3.3	1,778	106	61
	平均	9.0	5.7	8/7	9/27	140	267	97	1.5	2.2	0.0	1.3	2.6	1,728	110	59
ハイオニア106日 (36B08) 標準品種	20	9.0	5.0	8/9	10/1	145	223	92	1.6	0.0	0.0	1.0	2.8	1,494	100	51
	21	9.0	6.0	8/7	9/28	140	231	77	1.6	0.0	0.0	1.0	1.1	1,565	100	57
	22	9.0	7.3	7/26	9/13	126	191	78	1.6	0.0	0.0	2.0	11.3	1,670	100	57
	平均	9.0	6.1	8/4	9/24	137	215	82	1.6	0.0	0.0	1.3	5.1	1,576	100	55

- (注) 1 発芽の良否及び初期生育は9（極良）～1（極不良）とする評点法による。  
 2 倒伏、折損は倒伏個体、折損個体の全個体に対する割合。  
 3 すす紋病は被害程度と被害面積に応じて1（無）～9（甚）とする評点法による。  
 4 紋枯病は罹病個体の全個体に対する割合。

耕種条件

項目	内容
試験圃場	平成22年で連作3年目の圃場
播種期	平成20年5月9日、平成21年5月11日、平成22年5月10日
栽植密度	7,017本/10a（畝間75cm、株間19cm）
施肥量	平成20年 : N-P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> -K <sub>2</sub> O=15-15-10kg/10a、牛糞堆肥4,000kg/10a ようりん100kg/10a
除草法	平成21、22年 : N-P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> -K <sub>2</sub> O=10-10-0kg/10a、牛糞堆肥4,000kg/10a 播種後に土壌処理剤、トウモロコシの2～4葉期に茎葉処理剤を散布